

日本哲学会第71回大会 「哲学教育ワークショップ」

小中学校での 哲学対話教育の成果

5月11日（金） 大阪大学豊中キャンパス

- ▶ 河野哲也（立教大学）
- ▶ 土屋陽介（茨城大学）
- ▶ 村瀬智之（千葉大学）

- ### 「子ども哲学」の意義
- ▶ 思考力：批判的、創造的
 - ▶ ケアリング：集団形成・メンテナンス、シチズンシップ、カウンセリング
 - ▶ 意味づけ（動機付け）：自分の人生と自分が生きる社会を考える

対話型哲学の効果

	パフォーマンス	メンテナンス
個人能力	①思考力向上 批判的/創造的思考 すべての哲学実践	②ケアリング効果 カウンセリング効果 哲学カウンセリング・ ライフスタイル
集団能力	③集団的問題解決 組織アドヴァイス	④集団形成・維持力 コミットメント向上 シチズンシップ向上 哲学カフェ・子ども哲学・ 組織アドヴァイス

- ### なぜ、思考力とケアなのか
- ▶ 哲学教育は、なぜ思考力とケア力を、個人集団の双方で伸ばすことができるのか。
 - ▶ 前提を問いなおすから：現在の行動（思考も含む）のあり方を、可能なものの1つとする。
 - ▶ 個人のカウンセリング：論理療法
 - ▶ 集団のメンテナンス：集団構造と規範の再構築

- ### 発展のために
- ▶ 分かっていない人たちにどう説明するか
 - ▶ 分かっている人たちにどう説明するか

分かっていない人たちのために

- ▶ やってみせる
- ▶ させてみせる
- ▶ 実践者派遣、教員トレーニング

分かっている人たちにどう説明するか

- ▶ 「総合的学習とどう違うの？」
- ▶ 総合的学習：デューイの問題解決型学習、ヴィゴツキーの対話による思考力発達
- ▶ 多くの共通点：探求の共同体、生きた経験の重視、生活と教科の関連づけ、批判的思考の育成、対話による学習、オープンエンド、ピア評価

総合的学習との違い

- ▶ ① 課題提起 problem posing (Paulo Freire)
- ▶ ② 対話過程そのものの重視
- ▶ →問いの持続：問う価値のあることを問っている。ビジネスエシックスでの「バリュー・シェアリング」と同じ効果。
- ▶ ③ メンテナンス効果：インクルージョン
- ▶ →問題解決型は、アーレントの意味での「仕事」、哲学対話は「活動」：人間関係が問題や物に媒介されているか、いないか。

課題

- ▶ ① 哲学実践センターの設立（公的・私的）：
- ▶ 研究・情報収集、国際交流、学位授与、講師派遣、トレーニング・講習会の開催
- ▶ →サイエンスコミュニケーション分野を参考に
- ▶ ② テキスト・資料づくり
- ▶ ③ 教育学・教育現場との連携
- ▶ ④ 学会誌の発行：国際誌
- ▶ ⑤ 哲学実践一般への拡張

哲学的実践の形態 (Harteloh)

- ▶ 哲学カウンセリング（個人）
- ▶ ソクラテス型対話（集団）
- ▶ 哲学カフェ（集団）
- ▶ 組織アドヴァイス（政策・方針）
- ▶ 子ども哲学（学校）
- ▶ ライフスタイル（バイオグラフィ・コーチング）

付録：哲学教育の評価について

- ▶ 2012年度応用哲学会（4月22日、於：千葉大学）において、河野哲也・土屋陽介・久保田祐歌・村瀬智之は、「対話型哲学教育の効果測定と評価」というワークショップを行った。哲学教育の評価に関しては、当該学会の要旨を参考にさせていただきたい。
- ▶ 以下では、関連する参考文献をあげておく。

「哲学教育評価」参考文献

- ▶ Sprod, T. ““I Can Change Your Opinion On That”: Social Constructivist Whole Class Discussions and Their Effect on Scientific Reasoning”, *Research in Science Education*, Volume 28, Number 4, pp. 463-480, 1998.
- ▶ Trickey, S. & Topping, K. J. “Philosophy for children: a systematic review”, *Research Papers in Education*, Volume 19, Issue 3, pp. 365-380, 2004.

- ▶ Ennis, R. H.(1989), ‘Critical Thinking and Subject Specificity: Clarification and Needed Research’, *Educational Researcher*, vol.18, No.3,pp.4-10.
- ▶ 楠見孝・子安増生・道田泰司編（2011）『批判的思考力を育む：学士力と社会人基礎力の基盤形成』有斐閣。
- ▶ 松下佳代編著（2010）『〈新しい能力〉は教育を変えるかー学力・リテラシー・コンピテンシー』ミネルヴァ書房。

- ▶ 道田泰司（2003）「批判的思考概念の多様性と根底イメージ」『心理学評論』Vol.4,pp.617-639.
- ▶ 杉谷祐美子・吉原恵子・白川優治・香川順子（2011）「汎用的能力の評価手法に関する探索的研究ー自己評価・他者評価の可能性ー」『高等教育研究』第14集、207～227頁。
- ▶ McPeck, J. E.(1990), *Teaching Critical Thinking*. Routledge :New York London.
- ▶ McPeck, J. E.(1981), *Critical Thinking and Education*. Martin Robertson: Oxford

- ▶ 田中耕治（2011）『パフォーマンス評価』ぎょうせい
- ▶ 松下佳代（2007）『パフォーマンス評価ー子どもの思考と表現を評価する』日本標準
- ▶ 佐藤純『コンピテンシー・評価モデル集ー各社事例にみる評価と活用』日本生産性本部生産性労働情報センター
- ▶ Jan Sobocan & Leo Groarke (2010) *Critical Thinking Education and Assessment: Can Higher Order Thinking be Tested?* The Althouse Press.